

Information  
桑折町成人式



■日時 1/7 SUN 13:30～  
■会場 イコーゼ  
■対象者 平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの人  
参加を希望する人は、教育文化課 生涯学習係 (☎582-2408) へ事前に報告をお願いします (町外在住も出席可)。詳しくは、ホームページをご確認ください。

INFORMATION  
旧伊達郡役所活用事業  
クラシックコンサート



「クラシカルミュージックコンサート」が10月22日、旧伊達郡役所で行われ、町内外から約100人が来場しました。主催はacchicocchi company。コンサートでは、テノール歌手の高田幸雄さんと、ピアノの渡邊悦子さんが「心をひらくた」をテーマに、懐かしい四季の歌や演奏を披露。テノールの歌声とピアノの音色が会場に鳴り響きました。他にも、フィンガーペイントのワークショップや桑折町をモチーフに制作した数々のグッズが展示され、来場者は、「みて、ふれて、楽しむ」空間を満喫しました。

図書だより 図書館「よも～よ」 ☎582-5388

▶ 今月のおすすめ / 人の心に寄り添う本



■ヨルノヒカリ  
畑野智美：著 (中央公論新社)  
いとや手芸用品店を営む木綿子は、35歳になった今も恋人がいたことがない。台風の日に従業員募集の張り紙を見て、住み込みで働くことになった28歳の光は、母親が家を出て以来「普通の生活」をしたことがない。そんな男女2人がひとつ屋根の下で暮らし始めたから、周囲の人たちは当然付き合っていると思うが…。不器用な大人たちの「ままならなさ」を救う、ちいさな勇気と希望の物語。

一般書

NEWS 秋の読書週間イベント  
「よみくじ」で新たな本との出会い

「よも～よ」では、10月27日から11月9日の読書週間に合わせて、「よみくじ」ならぬ「よみくじ」企画を実施。延べ360人が参加し、一人一人へのおすすめの本や作家が書かれた「よみくじ」を引きました。「読書の幅が広がった」との声もあり、本との出会いを楽しみました。



マルベリーこおり 園事務局 ☎582-3129

新地町「鹿狼山」ハイキング  
眼下に広がる、太平洋の絶景に感動

マルベリーこおり主催のハイキングが11月18日に行われ、参加者7人が新地町の鹿狼山に挑戦しました。当日は鹿狼山の色鮮やかな紅葉を楽しみながら、軽快に登りました。山頂では、目の前に広がる太平洋はもちろん、新地町を360度見渡せる絶景を堪能。清々しい海風を浴びて、心もリフレッシュできました。



1\_走り終えた桑折町チームの皆さん 2\_1区を走った亀岡花凛さん(ゼッケン14番) 3\_繰り上げスタートの直前でつながる桑折町のたすき 4\_町の部区間賞、佐藤さんのゴールの瞬間(県庁前)

INVITING COMMUNITY  
ZONE FOR EVERYONE  
生涯学習だより

町の部10位で入賞  
ふくしま駅伝で力走

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月19日、白河市から県庁までの16区間96.3キロのコースで行われました。桑折町チームは、5時間45分00秒でゴールし、総合24位、町の部10位で、目標の「町の部入賞」を見事達成し、前回大会より総合で4つ、町の部で1つ順位を上げました。

16区の佐藤忠俊さんは2年連続で町の部区間賞を獲得し、チームに大きく貢献しました。佐藤圭監督は「選手全員が粘り強く走ってくれて、目標の町の部入賞を手にすることができた。これから1年さらに力をつけ、2年連続の町の部入賞を達成したい」と話しました。

駅伝チームでは、選手・スタッフを募集しています。  
■問い合わせ 監督：佐藤 ☎090-2278-3093



故郷で芸術展  
郡役所140周年記念事業

企画展「浅野勉×宮本明彦絵画展」が、11月12日から26日の2週間、旧伊達郡役所で開かれました。町出身の作家による初の絵画展で、写実画家として今年、全日肖展で内閣総理大臣賞(最高賞)を受賞した浅野勉さんと、「ホタピー」の生みの親で漫画家、イラストレーターなど幅広く活動している宮本明彦さんの作品を数多く展示。訪れた人は、作品一つ一つをじっくりと鑑賞しながら、2人のルーツをたどるとともに、その美意識と感性を堪能しました。



頭を使って  
割りばし×風船遊び

キッズスクールが11月11日、イコーゼで行われ、バルーンアートとゴム鉄砲作りに挑戦しました。バルーンアートでは、手動ポンプを使って細長い風船に空気を入れ、キュッキュッと風船をねじって、剣やうさぎなど、さまざまな形を作りました。ゴム鉄砲体験では、新福島芸能倶楽部の武田友美さんの指導のもと、割りばしと輪ゴムを使って鉄砲を作製。紙コップを並べた「的あてコーナー」で輪ゴムを飛ばし、何発連続で当てられるか楽しく競いました。



震災を学ぶ旅  
復興の歩みを知る

成人講座「東日本大震災遺構・原子力災害伝承館見学」が11月1日に行われ、参加者33人が双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館と震災遺構浪江町立請戸小学校を見学しました。原子力災害伝承館では、原発事故当時のさまざまな資料や映像を見て回り、語り部から当時の緊迫した状況を聞きました。県内唯一の震災遺構である請戸小学校では、津波が押し寄せた爪痕や避難の状況を肌で感じ、津波の恐ろしさを学びました。